

■授業の目的及び到達目標

技術・家庭科、技術分野の教育課程、指導内容・方法等について、法令、学習指導要領等を通して理解するとともに、教材作成・開発、学習指導案の作成、模擬授業の実践、事例研究等を通して実践的な知識・技術の習得と授業における実践力の育成を図る。

技術分野の指導のうち、エネルギー変換に関する技術、生物育成に関する技術、情報に関する技術について指導計画及び教材を作成できるようにする。また、学習指導案を作成し、それに基づいて授業を実践できる力を習得することを到達目標とする。

■授業計画

- 力の伝達に関する教材研究
力学的内容について学び、歯車、リンク機構、カムなどの仕組みについて解説するとともに、指導に必要な教材について検討する。
- 機械機構を活用した工作
リンク機構等を活用した工作に関する指導内容について解説し、指導に必要な教材について検討する。
- 電気工作の実際1
電気工作に関する指導内容について解説し、電気工作の指導に必要な知識・方法を学ぶ。
- 電気工作の実際2
授業中に確認できる簡単な電気工作実習を考え、電気工作の指導に必要な技術の在り方を習得する。
- 生物育成に関する技術1
「生物育成に関する技術」の指導内容・方法について解説する。「生物育成に関する技術」の題材のアイディアと指導計画を検討する。
- 生物育成に関する技術2
「生物育成に関する技術」に関して作成した題材のアイディアと指導計画について研究協議し、相互評価及びフィードバックとしての講評を行う。
- 情報に関する技術1
情報活用能力を高めるための指導内容・方法について解説し、コンピュータリテラシーを向上させるための教材について検討する。
- 情報に関する技術2
表計算ソフトの効果的な活用に関する指導内容・方法について解説し、表計算ソフトの基本的な機能を学ぶための教材について検討する。
- 情報に関する技術3
情報発信に関する指導内容・方法について解説し、情報発信の能力を高めるための教材について検討する。学校で活用するホームページづくりとその在り方について扱う。
- 情報モラルの指導
情報モラルに関する指導内容・方法を解説し、情報の受信・発信に関する課題について検討する。
- 技術分野における学習指導案の作成
自ら選択した技術分野の内容を題材に、授業の指導計画、評価計画を立て、学習指導案を作成する。
- 学習指導案の検討
作成した学習指導案について研究協議し、評価・改善及びフィードバックとしての講評を行う。
- 技術分野における授業の実際1
模擬授業を通して技術科の学習指導を実践し、発問の技術について相互評価と研究協議及びフィードバックとしての講評を行う。
- 技術分野における授業の実際2
模擬授業を通して技術科の学習指導を実践し、板書の技術について相互評価と研究協議及びフィードバックとしての講評を行う。
- 学修のまとめ
学修のまとめとして、論述試験を行い、フィードバックとしての解説をする。

■授業の方法

毎回テーマを定めて、教科書、資料を活用しながら講義及び課題解決学習を行う。実習、教材作成、演習、模擬授業、研究協議など学習を多く取り入れ、実践的な学びを重視する。学習指導案を作成し、模擬授業を実施する。

■予習・復習

復習として、教材や指導計画作成の課題を行い、授業で発表すること。

予習として、学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行うこと。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

論述形式の試験を行い、到達度を評価する。模擬授業の実施状況、学習指導案の作成状況を評価する。試験60%、学修への取組状況（模擬授業、学習指導案作成等）40%

■教科書・参考書

参考書：文部科学省「中学校学習指導要領解説－技術・家庭編－」を使用する。

■関連する科目

「技術科教育法Ⅰ・Ⅱ」を履修しておくことが望ましい。「技術科教育法Ⅳ」、「教育実習（事前・事後指導）」及び「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の履修につなげていく。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、東京都公立高等学校に37年間勤務し、進路指導・生活指導・学校改革・研究活動に関する分野に研究実績を積んできており、それを本科目の指導に生かしていく。